

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2490200421		
法人名	(有)しあわせ		
事業所名	グループホームしあわせ		
所在地	三重県四日市市水沢町横堀5137-1		
自己評価作成日	評価結果市町提出日	令和4年2月15日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報公表システムページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaizokensaku.mhlw.go.jp/24/index.php?action=kouhyou_detail_022_kihon=true&JigvosvoCd=2490200421-00&ServiceCd=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 三重県社会福祉協議会
所在地	津市桜橋2丁目131
訪問調査日	令和4年1月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鈴鹿山系の麓にあり自然に囲まれ四季折々の空気を体を感じ日々生活されている。手作りのお食事を提供し「家庭の味」を堪能していただいている。重度な方が増えている中、利用者様、職員と共に楽しめるイベントを企画し参加していただいている。「歌」を好まれ毎日どこからか歌声が聞かれる和気あいあいとした生活を送っている。「感謝の気持ち」をモットーに笑顔でおひとりおひとりに寄り添ってお手伝いさせていただいている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

周りをお茶畑に囲まれた、開設5年目を迎える事業所である。同敷地内にある通所介護、居宅事業所、有料老人ホーム、短期入所生活介護と連携し、地域の方々と共に、地域の高齢者の生活をサポートしている。コロナ禍でも事業所独自の理念「感謝の気持ち」と共に8つの心構えを忘れず、利用者一人ひとりの思いをくみ取り、その人らしい生活の支援が出来るように努めている。利用者および家族の希望を第一にケアプランを立て「グループホームしあわせで良かった」と、思ってもらえるよう、日々のケアの向上に管理者・職員で取り組んでいる事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	施設内に理念を掲げ、皆で共有し実践につなげている。「ありがとう」と笑顔を大切にしている。	事業所独自の理念「感謝の気持ち」が、広い食堂兼リビングの壁に掲示してある。職員による書で大きな字で書いてあり、何処からも誰からも目に届き、現場の職員間の声と心を大切に支援に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ感染予防のため、ご利用者は外部の方々との交流する機会を控えている。	コロナ禍で地域のイベントやボランティア訪問も中止していたが、一度だけ尺八の演奏が聞けた。職員も地元住民が多く、事業所周辺の散歩時には近隣住民のお花畑を見せてもらいながら挨拶をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設内での三密を回避できず、書面での事業報告をしている。ご意見やご質問を受け実践している。地域の方にご理解はいただくよう動いている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	三密を回避出来ないことをご理解いただき書面にて報告しご意見等をお聞きしサービスの向上に活かせるよう努力している。	2か月毎に行政・民生委員・自治会長・地域代表・家族代表などの参加で年6回開催していたが、コロナ禍で中止し事業所の現状や利用者の様子を書面報告形式とした。参加者からの意見・要望は次回の報告に載せるなど、実際の会議と変わらない取り組みを行っている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	書面での報告、ご相談しており、ケア、サービスに取り組んでいる。お話しやすい関係性を作っていたい。	行政との相談や情報交換は、殆ど郵送および電話でしている。困りごとがあればその都度、助言を得るなど協力関係は出来ている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月、身体拘束をしなくてはいけないのかを職員間で話し合い身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月、身体拘束については行政の助言を得ながら職員会議などで話し合っている。記録の整備、全職員への周知と共に利用者一人ひとりに寄り添い、見守り、拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を行い職員間でも注意できるよう話合っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	活用されているご利用者はいないが、研修として学ぶ機会をもっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時の説明を行い、変更等があればその都度ご理解していただけるようお話ししている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見、ご要望があれば職員間で話し合い可能なことはさせていただいている。取り組んだ事柄は書面にて報告している。	コロナ禍で家族との面会は窓越しに行っている。毎月、利用者の近況報告・屋内イベント写真を載せた「グループホームしあわせだより」を郵送することによって家族との会話も増え、電話対応等で意見や要望を聞く工夫をし、出来る限り希望に添えるように支援している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の会議等で設け、反映できることは反映している。	管理者・介護支援専門員は日頃から現場に入って仕事をしているので、職員は何時でも相談が出来る。月1回の職員会議では沢山の提案が出て業務改善に繋げている。最近ではテレビでユーチューブ動画が見れるようになった。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与水準はできるだけよくするようにしている。また、労働時間に関してもできるだけ配慮している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会議の後に研修をしている。会議があれば外部での研修もすすめている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	以前に同業者との交流に行ってもらったことがあるが現状できていない。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人のお話をお聞きし、関わりを多くもち安心できる関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所させることへの不安を取り除き、できる限りのご要望にお応えしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族、ご支援者に在宅での生活をお聞きし必要となる支援をご相談しながら見極めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「終の棲家」としてご利用者と職員がともに「家族」を意識しともに生活する者同士助け合って生活している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍で面会の自粛をお願いしてきた経緯があり、書面や電話での報告。緊急事態宣言が解除となり、面会の緩和を行い、面会時にはご様子をお伝えしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会をご家族のみとさせていただいている。ご家族との外出も減少し馴染みの方との交流も難しくなっている。自然豊かな環境から生家を思い出してお話されてみえる。	コロナ禍で家族・知人などの面会は制限したが、窓ガラス越し面会、電話、伝言などの方法で馴染みの関係の支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者の性格を把握し、相性をみながら関わりがもてるよう考慮し支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じご相談や支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご自身の思いを話せるご利用者が少ない。ご本人の気持ちを推察し職員間で話し合いより良い生活ができるよう支援している。	コミュニケーションが取れる利用者が少なくなってきたが、食事・入浴・排泄など、日々の支援時に思いや要望をくみ取り、職員全員で情報を共有し、一人ひとりのアセスメント・ケアプランに反映できるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族、在宅での支援者にお話を聞き、これまでの生活状況を把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別に記録を取り現状を把握している。職員間で共有し、適した支援を見極めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月個別カンファレンスを行い、それに基づいて必要なケアを話し合い介護計画を作成している。	介護計画に関する家族との話し合いは、コロナ禍の影響で電話が多いが受診時にも聞いている。個々の支援経過は記録の中に書き込んでいるが、記入する様式全般を見直している。	見直しの期間は緊急を除き、基本的に3か月毎となっている。利用者一人ひとりの支援内容の実施状況を、項目ごとにチェックするモニタリング表に基づき評価することを期待する。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録での気づきや工夫を職員間で話し合い、実践、結果、介護計画の見直しに活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者のご希望を重視している。他事業所にも相談し必要とされる支援があれば既存のサービスに捉われず支援させていただく。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍でご利用者が外部との関わりをもつことができなかったが、地域のボランティア様の演奏を楽しんでいただいたり、近隣への散歩で地域の皆さまと交流を楽しむことができるようになった。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回の定期診療を受けている。緊急の場合は受診している。常に相談し支えとなっていただいている。	全員が協力医で、月1回の訪問診療および隣接事業所の訪問診療時にも受けている。緊急時や夜間など24時間対応で協力医と連携が取れている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	小さな変化に気づくよう心掛け、看護師、職員間で共有し相談しながら適切な受診や看護を受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療ソーシャルワーカーと常に情報を共有し退院カンファレンスに参加している。経過をみながら今後の必要とされる支援を考えている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化、終末期に向けた方針は、ご利用者の心身状態の変化により主治医、ご家族、ご本人と話し合い取り組んでいる。地域の関係者と連携をとり支援に取り組んでいる。	看取りに関しては入居時、医療行為が出来ないこと、夜間の看護師不在など家族の希望も聞きながら話し合っている。事業所としては主治医の指示の下、出来る限りの支援を考えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当等研修で学び、マニュアルに沿って対応ができるよう訓練している。常に主治医と相談し指示が受けられる体制をとっている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の夜間の火災、地震を想定し避難訓練をしている。他事業所、近隣の職員にも緊急時に応援してもらえるよう協力体制を築いている。	地域の防災訓練は中止しているが、事業所独自で隣接事業所と共にマニュアルに沿って避難訓練をしている。防火管理者の資格を持つ管理者の指示で、避難経路の確認、消火器の使い方、非常食の確認などもしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者を個人として尊重し不快に思うことがないように接している。	利用者一人ひとりの気持ちを大切にして、不適切ケアをしない支援に努めている。日常の何気ない一言で、利用者を傷つける事の無いように職員間で話し合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者と会話をたくさんもつようにしている。自分で決められるよう声掛けを行っている。言葉にできない方には、表情を読み取りより良い選択ができるよう話しあっている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご希望を話せる方にはできる限り応じさせていただいている。その日の体調でお手伝いやレクリエーションに参加していただいている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	選択できない方が多く、職員がその方らしいおしゃれなコーディネートをしている。衣類の汚れがあれば交換し整髪、髭剃りをしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	家庭で味わえる手作りならではの食事をご用意している。彩り豊かな盛り付けをし食欲が増す工夫をしている。職員と一緒に食器拭きをしている。	献立・食材は委託業者から届き、職員が3食とも調理している。利用者から「いつも美味しい」と言われることが職員の励みになっている。誕生日や四季の行事食・おやつ作りは大好評で、見る楽しさ・食べる楽しさを味わってもらおう工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の水分補給のメニューを考え、飽きがこないようバリエーション豊かに提供している。むせ込みがある方はとろみのつけ方も工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	昼夕食後の口腔ケアを行っている。自己にて口腔ケアができる方は磨き直しをする。治療が必要と思われる方は訪問歯科診療を受けていただいている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個人記録に記入し排泄状態を把握している。ご本人の尿意、便意を損なわないよう時間の間隔や行動をみてトイレ誘導をしている。	一人ひとりの排泄パターンを記録しているので、必要に応じて声掛けやトイレ誘導を行っている。夜間のみ転倒防止も含めて紙おむつ・ポータブルトイレの使用者がいる。常にどの対応が良いかを管理者・職員で検討している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に応じた飲食物の工夫をしている。便秘に良いと言われる食物を試しているが難しい。主治医と相談して個別に対応している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ご利用者に合わせ午前中の入浴となっている。浴槽をまたぐことが難しい方が多い。シャワー浴となり足浴をしている。	週2～3回、午前中入浴を基本としている。利用者の殆どがシャワー浴で、脱衣場・浴室の温度管理に気を付けている。職員と1対1で、のんびりと話しながら寛いだ気分を味わってもらう工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午前、午後問わず休息を希望される方、静養を必要とされる方は休んでいただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別に体調の変化や排便の管理を行い、服薬の理解に努めている。お薬の変更があった時には誤薬がないよう情報を共有する。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できることを見極め職員と一緒に取り組んでいる。お歌を好まれる方が多く音楽番組を楽しまれている。率先して洗濯物をたたむ方、食器拭きができる方がみえ、皆さまで手分けして作業をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍、敷地内の散歩をしたり、職員の除草作業中日向ぼっこしながら話をしていた。ご本人の希望に沿った外出支援はできていない。	コロナ禍で不要な外出は控えているが、天候の良い日は、広い敷地内や近隣の畑に咲く花を見に出かけ、利用者の気分転換やストレス発散となっている。又、室内イベント(運動会・七夕・クリスマスなど)の職員による準備風景を笑顔で見て楽しんでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在外出支援ができず、買い物する機会がない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話でのビデオ通話を希望されたご家族がみえ会話を楽しまれている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お部屋入り口にご自身のお部屋だとわかるようにお写真を貼っている。季節を感じられる装飾を施している。	オープンキッチン付きの食堂兼リビングは、多目的に使用できる広さである。管理者は常に四季感を大切にしている、壁にはお正月らしく紅白に折られた鶴の暖簾を飾り、季節を感じてもらう工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者間で自由に移動されお話をされている。孤立しないように職員が中に入り対応する。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族が持参いただいたお写真、小物、お花を飾らせていただいている。個々に移動し易いように、また介護し易いように家具の配置を考えている。	手作り額の表札は、利用者の笑顔の写真である。ペット・カーテン・エアコンが事業所として設置されている他は、家族の協力を得て使い慣れた家具などが持ち込まれている。思い出の写真が飾られ、落ち着いて過ごせるように工夫や配慮をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者の個々の状態を把握し安全に生活できる空間作りをしている。自由に移動できる環境をつくっている。		